

## 第一回つくばグリーンイノベーションフォーラム「有機薄膜太陽電池の基礎と最新研究動向」

2011年11月8日（火）

筑波大学総合研究棟 B 棟 0110 公開講義室 ([http://www.tsukuba.ac.jp/access/map\\_central.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html))

筑波大学プレ戦略イニシアティブ「グリーンイノベーションのためのキーマテリアル高度デザイン研究拠点」では、筑波大学におけるナノテクノロジー・ナノサイエンスの研究成果をグリーンイノベーション分野の産業界に発信し、グリーンイノベーションに関する産学連携の構築を目的に活動を行っています。特に、産学の間草の根的なパイプをつくり、企業の皆様とのコミュニケーションを豊かなものにしていきたいと願っております。本事業の一環として、第一回目のフォーラム「有機薄膜太陽電池の基礎と最新研究動向」を開催することに致しました。つくば地区を中心とした著名な先生方に、有機薄膜太陽電池に関連した基礎チュートリアルと最新研究動向の講演をお願いしました。本フォーラムを通して産学連携による社会貢献が一層促進されれば、フォーラム関係者一同、心から幸甚に存じます。

主催：筑波大学プレ戦略イニシアティブ

共催：筑波大学学際物質科学研究センター（TIMS）

### プログラム

10：30－10：40「フォーラム趣旨説明」中村潤児（筑波大）

10：40－11：20「積層型バルクヘテロジャンクション有機薄膜太陽電池の開発」當摩哲也（産総研）

11：20－11：55「エネルギー捕集・伝達機構を有する薄膜積層型有機太陽電池の開発」市川結（信州大）

11：55－12：30「新しいシリコン系薄膜結晶太陽電池をめざして」末益崇、都甲薫、宇佐美德隆、関口隆史（筑波大）

13：30－14：20「高効率有機薄膜太陽電池の開発」瀧宮和男（広島大）

14：20－14：55「高分子半導体製造プロセスの環境負荷低減化」神原貴樹（筑波大）

14：55－15：30「トリフェニルアミン系材料を用いたバルクヘテロ型有機薄膜太陽電池の開発」安田剛（物材機構）

15：40－16：15「STMを用いた太陽電池のナノスケール分光」重川秀実（筑波大）

16：15－16：50「時間分解分光法による有機太陽電池薄膜の初期過程評価」守友浩、上岡隼人（筑波大）

16：50－17：25「有機薄膜太陽電池の構造解析と特性低下評価」山成敏広（産総研）

17：25－18：00「ESRによる有機薄膜太陽電池の特性低下機構のマイクロ解析」丸本一弘（筑波大）

18：00－19：00「意見交換会」ポスターセッション、研究室見学ツアー

参加費：無料、事前参加申込：不要（当日受付要）

ポスター発表を受け付けます。希望者は事前申込（題目、著者、所属）を下記責任者までお願いします。

### 内容問合せ先

第一回フォーラム企画責任者 筑波大学 丸本一弘

TEL 029-853-5117 FAX 029-853-4490 e-mail: marumoto@ims.tsukuba.ac.jp

皆様の多数のご参加をお待ちしております。